

秋田県立由利工業高等学校

創立
60周年



昭和37年に機械科、電気科、工業化学科の3科で開校しました。昭和47年に建築科が設置され、平成15年の学科改編により工業化学科を環境システム科とし、現在の4科編成となりました。平成29年に県内で唯一の航空機科目を導入し、先端技術を学んでいます。

「自律・創造・誠実」の校訓の基、由工スタンダードを設けて毎日を送っており、特にあいさつに関しては地域の方々からも高く評価されています。

部活動が盛んで、野球部、テニス部、サッカー部、水泳部、バドミントン部、ソフトボール部、漕艇部、卓球部等が全国大会へ出場しています。地域に愛され地域とともに育つ学校を目指しており、課題研究や生徒会行事、地域貢献部の活動を通して地域との連携を深めています。



秋田県立大曲工業高等学校

創立
60周年



本校は、昭和37年に「地元根ざした工業人」を育成することを目標に、機械科、電気科、土木科、建築科の4学科でスタートしました。平成17年に、土木科、建築科が土木・建築科に改編され、現在県南唯一の工業高校として、これまで多くの技術系スペシャリストを輩出してきました。

緑豊かな校地で、部活動加入率が極めて高く、大会等での活躍など文武両道が実践されています。また、令和元年度から「地域の教育力を活用し、次代を担う人材を育成する」をテーマにコミュニティ・スクールを導入しました。小学校や中学校等との異校種間交流や地域貢献活動等にも積極的に取り組み、地域と協働して躍進している学校です。



秋田県高P連会報 No.130



発行/秋田県高等学校PTA連合会 事務局/秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷/秋田中央印刷株式会社

これからの行事ご案内

地区交流会

県北地区交流会

- 期日 10月7日(金)
- 会場 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子
- 研究主題 地域社会の中で子どもたちが自分らしい生き方を実現するためのPTAができること
- 内容 (1)講演会 講師 高橋 善之 (大館市教育委員会教育長)
- (2)トーク&ライブ 出演 ダックスムーン



中央地区交流会

- 期日 11月18日(金)
- 会場 由利本荘市文化交流館 カダーレ
- 研究主題 『巣立ちの準備はできていますか?』
- 内容 (1)講演会「かしこい消費者になるためのお金学 ~18歳までに学ぶ知恵~」 講師 伊藤 晴美 (秋田県金融広報委員会金融広報アドバイザー)
- (2)パネルディスカッション



県南地区交流会

- 期日 9月30日(金)
- 会場 横手セントラルホテル
- 研究主題 『生きる力を育むために今PTAのできること』
- 内容 (1)講演会 講師 寺田 誠 (寺田心理教育研究所所長)
- (2)分科会 第1分科会「進路希望実現のために家庭ができること」 第2分科会「子どもたちの安全を守るためには何が大事か」



※写真は過去の開催の様子です。

第35回母親会員交流会



- 期日 11月22日(火)
- 会場 秋田県生涯学習センター
- テーマ =きびしさのなかに愛を やさしさのなかに節度を=
- 研究主題 [Let's アクション! 母親として、女性として、今この時代(とき)を生き抜く為に]
- 内容 (1)講演会 講師 能登 祐子 (夢工房咲く咲く代表)
- (2)グループ別討議

※上記の行事は、新型コロナウイルスの感染状況によって、延期または中止する場合があります。

編集後記

第130号をお読みいただきありがとうございました。会報には「記録」と「情報発信」という大きな役割があると思います。今号では「情報発信」に少し重心を傾け、会員の皆さんにとって有益な情報とは何か?伝えたいことは何か?を考え制作しました。様々なご意見があるとは思いますが、新たな取り組みとしてご一読いただけたら幸いです。発行にあたり、原稿をお寄せくださった皆様、印刷会社のご担当者様、委員会メンバー・事務局の皆様へ深く感謝申し上げます。 調査広報委員長 根田 達也



健全育成委員会



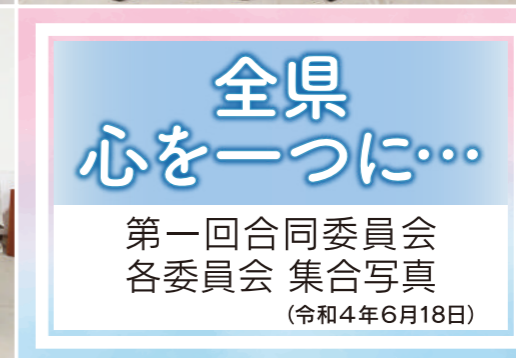
総務委員会



進路対策委員会



母親委員会



全県心を一つに... 第一回合同委員会 各委員会 集合写真 (令和4年6月18日)



調査・広報委員会



「学校の応援団」として

秋田県高等学校PTA連合会 会長 檜尾 春香

長きにわたって秋田県高等学校PTA連合会の役員を務めてこられた湊屋啓二氏が、去る5月27日(金)に行われた令和4年度定時総会をもって会長を退任されました。創立70周年記念事業をはじめ、本連合会の発展のために尽くしてこられた湊屋啓二氏のこれまでの御功績に改めて敬意と感謝の意を表します。

令和4年度、本連合会の会長を務めさせていただくことになりました、県立大曲農業高等学校PTA会長の檜尾春香です。副会長をはじめとする役員の皆様、そして事務局の力をお借りしながら、本連合会の運営に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、近年、PTA関係の会議等に出席するとよく耳にするのが「予測困難な時代」という言葉です。本連合会の事業やPTA活動を展開していく中でも、これまで経験したことがない課題への対応を求められることが多くなりました。この言葉の意味をより一層実感することが多くなりました。依然として私たちに大きな試練を与え続けているコロナ禍は、これまでの本連合会の事業やPTA活動の在り方を問い直すきっかけとなり

ました。また、令和4年度から高等学校においては新しい学習指導要領が年次進行で実施されるとともに、高等学校教育が抱える様々な課題の解決に向けて、普通科改革や部活動改革、学校における働き方改革、そして大学入学者選抜改革など多様な教育改革が一斉に進行しています。

PTAは「学校の応援団」です。さらに複雑化する「予測困難な時代」の中で、学校に全ての教育を任せるとはならず、学校ではできないこと、PTAだからこそできることを明確にし、日頃から相互の連携を図りながら、社会の変化に対応した学校づくりを地域とともに支えていく必要があるのではないかと思います。

本連合会といたしましては、子どもたち一人一人が心豊かで心身ともに健全な逞しい大人へと成長することができるよう、各校PTAや県教育委員会等と連携し、子どもたち一人一人が生き生きと学校生活を送り、夢に向かって頑張ることができるような環境づくりを支援していきたいと考えております。引き続き、皆様の御支援と御協力の程、よろしくお願いいたします。

秋田県高等学校PTA連合会

令和4年度 定時総会開催

～3年ぶりの対面開催～

新型コロナウイルス第6波の感染状況が好転し、5月27日（金）秋田市のホテルメトロポリタン秋田を会場に、定時総会が3年ぶりに開催することができました。総会は、感染拡大防止のため各加盟校の参加人数を2名以内に制限し、マスク着用と手指消毒を徹底し、換気などの対策を十分にとることで、その防止に努めました。

開会行事では、湊屋会長の挨拶のあと、県教育庁生涯学習課課長の中田善英氏、県高等学校長協会会長の柘植敏朗（秋田高校）氏からご祝辞をいただきました。

また、表彰式では、長年PTA役員として学校や高P連に力を注いでいただいた100名の皆さまが表彰されました。そして、受賞者を代表し、大館桂桜高校前PTA会長工藤哲也氏が謝辞を述べました。また、秋田県高P連広報紙コンクールの表彰式も併せて行われ、受賞校21校に表彰状が授与されました。



総会全体風景



受付



県教委中田課長祝辞



感謝状代表者授与



広報紙コンクール代表校授与



議長・副議長



受賞者代表謝辞

総会では、秋田北高校PTA会長荻原慎太郎氏が議長に、大館国際情報学院高校PTA会長和田博栄氏が副議長に、そして、国学館高校PTA会長石井裕子氏と横手城南高校PTA会長照井元氏が議事録署名員に任命され、令和3年度事業報告と決算、県高P連創立70周年事業報告と決算、令和4年度事業計画と予算、令和4年度新役員について厳粛に審議し、審議事項はすべて承認されました。

最後に、令和4年度の新任副会長・監事が登壇し、榎尾春香新会長の代表挨拶のあと、役員一人一人が紹介されました。

また、榎尾新会長から湊屋前会長に感謝状が手渡され、令和3年度の正副会長・監事が登壇してお一人お一人から退任のご挨拶をいただき、会場の参加者から満場の拍手をもって新旧役員が無事引き継がれました。



旧役員ご退任あいさつ



榎尾会長から湊屋前会長へ感謝状贈呈

新役員紹介

会長副会長・監事

①所属高校 ②座右の銘



会長 榎尾春香

- ①大曲農業高校
- ②日々是好日



副会長 竹嶋美佳沙

- ①能代松陽高校
- ②結果にはすべて理由がある



副会長 根田達也

- ①金足農業高校
- ②昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう



副会長 金沢直樹

- ①横手清陵学院高校
- ②できない理由を言わない



副会長 笠原基嗣

- ①大曲高校
- ②笑う門には福来る



副会長 佐藤麻衣子

- ①聖霊短大付属高校
- ②夢見ることができれば、それは実現できる



副会長 柘植敏朗
(県高校長協会)

- ①秋田高校(校長)
- ②遊び心を忘れない



監事 青山 真

- ①花輪高校
- ②Be Social 常に誰に見られてもやましくない行動をすること



監事 佐沢かな子

- ①秋田令和高校
- ②自分に勝つことこそ、最も難しい勝利



監事 福島正人

- ①角館高校
- ②一日一善

理事・事務局

役職	学校名	氏名	役職	学校名	氏名	役職	学校名	氏名
理事	花輪	松浦直哉	理事	本荘	金子宗元	理事	能代科学技術	* 藤田博樹
	大館鳳鳴	桑名秀明		由利	加藤隆和		秋田北	* 永井元
	能代	吉方清彦		大曲工業	田口俊彦		本荘	* 熊澤耕生
	男鹿海洋	吉田由彦		六郷	西村美智恵		大曲農業	* 渡辺勉
	秋田中央	森川洋平		平成	松井和信		横手	* 難波文彦
	秋田工業	工藤健悟		横手城南	照井元		能代	○ 畑山真知子
	秋田明德館	吉川ひかる		羽後	阿部真		湯沢	○ 菊地佐起子
国学館	石井裕子	大館鳳鳴	* 渡邊政徳					

* 校長協会代表 ○ 母親委員会代表

事務局長 石井 潔 事務局員 淡路 ひろ子

第71回東北地区高P連盛岡大会3年ぶりの開催

東北地区高P連盛岡大会が、6月30日(木)から7月1日(金)にかけて盛岡市民文化ホールで開催されました。大会は、東北6県から約800人のPTA関係者が参加し、「「えん」～応えよう、援けよう、回まろう! 子どもたちの未来のために～」をテーマに開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、東北地区高P連としては実に3年ぶりの開催となりました。

開会行事では、東北地区高P連会長の挨拶、全国高P連会長と岩手県知事等からの祝辞が述べられました。その後、表彰式が行われ、本県からは、2名に感謝状が、そして2団体3個人に表彰状が授与されました。また、表彰式は東北地区高P連広報紙コンクールの表彰も併せて行われ、本県からは、秋田公立美術大学附属高等学校、大館桂桜高校、秋田令和高校にそれぞれ表彰状が授与されました。

研究協議では、「新しい生活様式における持続可能なPTA活動とは」をテーマにパネルディスカッションが行われ、各県のPTA代表者がパネラーとなって、コロナ禍でのPTA活動の取組について意見交換がなされました。

本県からは、秋田県高P連前会長の湊屋啓二氏がパネラーとして参加し、秋田県高P連の取組について発表しました。

最後に、コーディネーターから湊屋氏に、「現役の高校PTAの皆さまへメッセージを」とマイクが渡され、湊屋氏の信念としている①できないことや言い訳はしない、②前例にとらわれない、③「生徒のために、学校のために」がPTAの原点、④何よりも大事なことは、PTAの皆さんでお酒を酌み交わしての情報交換を早く復活させてほしい、この4つのメッセージを参加者に発してくれました。

記念講演会は、南部美人五代目蔵元久慈浩介氏による「南部美人の挑戦～地域を照らす光になるために～」の演目で講演が行われました。講演では、海外留学で再発見した日本酒の魅力と蔵元の継承を決意した経緯、日本酒を世界に展開した理由と全国の蔵元を集めて日本酒の魅力の世界に売り出した戦略、「酒造りは技術でなく人の和」、新型コロナウイルス感染拡大で直面した大打撃と採算の取れない消毒用アルコールを南部美人の酒蔵が作り続ける理由等について聴衆に情熱をもって語ってくれました。



受賞者記念撮影



湊屋前会長(パネラー)



高校生歓迎演技(さんさ踊り)

祝 東北地区高P連表彰

- 感謝状 秋田北鷹高等学校 湊屋 啓二 氏
男鹿海洋高等学校 吉田 康平 氏
- 表彰状 男鹿工業高等学校 鎌田 文弘 氏
六郷高等学校 伊藤 正章 氏
湯沢翔北高等学校 佐藤 泰幸 氏

祝 令和3年度東北地区高P連 広報紙コンクール表彰

- 最優秀賞 秋田公立美術大学附属高等学校
(本県として23年ぶりの最優秀賞受賞!)
- 優秀賞 大館桂桜高等学校
- 奨励賞 秋田令和高等学校

新役員が集い「第1回合同委員会開催」

県内加盟校のPTA会長が集い、第1回合同委員会が6月18日(土)に秋田県生涯学習センターで開催され、新役員による今年度最初の事業がスタートしました。

全体会では、榎尾会長の挨拶の後、委員の委嘱、今年度の事業について事務局からの説明、そして、「秋田県総合補償制度」の説明がありました。その後、各委員会毎に分かれて、今年度の委員会活動等

について協議がなされました。今年度も新型コロナウイルスの感染状況と向き合いながらの活動になりますが、各委員会では、委員の皆さんから積極的な話し合いがなされ、委員会活動を停止することなく着実に前に進んでいこうとする委員の皆さんの気概を感じました。



榎尾会長あいさつ



全体風景



各委員会の様子



全体風景

知事、秋田労働局長および教育長等による県内経済団体に対する新規高卒者の県内就職の促進に関する要請が行われる

5月12日(木)に秋田県商工会館において、秋田県知事、秋田労働局長、秋田県教育長が、それぞれ県内の経済団体代表に対して今年度の新規高卒者の県内就職の促進を図るよう要請書が手渡されました。また、県内就職を希望する高校生を代表して秋田工業高校3年生の小野快登さんが県内就職を希望する高校生の雇用について支援をお願いしました。

高P連からは湊屋啓二会長(令和3年度)が出席し、保護者に対しても県内企業の情報を積極的に提供いただくよう要請しました。



生徒の安全を考える

秋田県高P連 高校生総合補償制度のご案内

自転車の保険加入が義務化になりました。皆さまの周囲のお子様は大丈夫でしょうか？高校生の交通事故の多くは自転車による事故で、重傷事故や加害事故も発生しています。

この保険制度は、秋田県高P連が立ち上げた25年の実績がある保険制度です。

プランの中には、**自転車に特化したプランがあり、高校在学中の自転車事故で生じた怪我の治療費が支払われます。また、万が一事故の加害者になった場合は、相手方との示談交渉を保険会社が代行してくれます。**掛け金は団体割引が適用されていますので、補償内容に対してリーズナブルです。

途中加入もできますので、ご相談の際は、下記保険代理店が高P連事務局にお電話ください。

ご相談は

アキタ保険(代理店代表)

TEL 018-864-6921

高P連事務局

TEL 018-863-6681

おじいさんがケガ…

おじいさんが… どうしよう…

おじいさんが…

示談交渉をすべて保険会社が代行します

入ってよかった

賠償金 裁判費用

その後裁判で、高額請求される事例も

練習中に骨折…

高校生のライフスタイルに合わせて様々なプランがあります。

校舎の窓が…

コロナに感染…

詳しくはこちらのQRコードから

告知

今年も7月1日から10月30日にかけて、各学校で「一声あいさつ運動・マナーアップ運動」を実施しています。

高P連では、横断幕やのぼり旗、腕章を準備し、実施している学校に貸出しています。必要な学校は事務局までご連絡ください。

電話 018 (863) 6681 秋田県高P連事務局



学

校

紹

介



— 周年学校 —

秋田県立大曲農業高等学校

創立 130周年



明治26年、秋田県尋常中学校(現秋田高校)に設置された農業専修科が本校の始まりです。明治34年に秋田県立秋田農業学校と校名改称、明治37年現在地に新校舎落成移転、大正15年に校名を秋田県立大曲農業学校と改称し現在に至ります。開校以来、長きにわたり、各方面に3万人を超える人材を輩出してきました。本校は、農業教育を通じて豊かな感性と人間性を育み、社会や時代に即応する人材を育成することを目標としています。農業科学科、食品科学科、園芸科学科、生活科学科の4つの学科において、各分野の基礎的・基本的な知識と技術の習得を図りながら、地域社会の発展に寄与する人材を育成しています。



秋田県立本荘高等学校

創立 120周年



明治35年、秋田県立本荘中学校として創立以来、制度の変遷を経ながら今年で創立120周年を迎えます。昭和63年、現在の陳場岱に移り、右文尚武・質実剛健・玲瓏同氣を校標に掲げて、人格の完成と真理の探究に努める心身ともに健全な生徒の育成を目指し、日々精進を続けております。校章は霊峰鳥海の千古の雪をかたどり、その高貴、潔白、清浄、すなわち真、善、美をあらわしています。全日制普通科で平成25年から数理探究クラスを設置するなど、生徒の興味・関心と進路の達成に向け柔軟な教育課程を設けています。毎年、多くの運動部・文化部が全国高校総体、全国高文祭に出場し右文尚武(文武両道)を地で行く活躍を見せています。



秋田県立五城目高等学校

創立 80周年



昭和17年、秋田県五城目実科高等女学校として設立され、湖東部唯一の高等学校として地域形成に大きな役割を果たしつつ、今年で創立80周年を迎えました。自然豊かな環境にあり、校舎のすぐそばを馬場目川が流れ、校歌に謳われている森山が近くにあり、かつては普通科、家庭科の3学科があり、定時制課程も設置されていましたが、現在は全日制の普通科単科校となっています。「真実・克己・規律」の校訓のもと、日々の学校生活とおして、心身共に健康な人間を育成することを目指しています。「総合的な探究の時間」においては、地域を理解し、地域の未来を考え、地域の魅力を発信する取り組みを行っています。部活動も盛んで、レスリング部をはじめ、多くの部が全国大会で活躍してきました。



秋田県立西目高等学校

創立 80周年



本校は1942年4月、農業科・農業土木科からなる県立西目農業学校として開校しました。その後、社会の変化に対応して校名と学科の変更があり、1996年に総合学科を有する高等学校となり現在に至ります。総合学科は、普通科や専門学科と並ぶ第3の学科として、幅広い選択科目の中から生徒の個性を生かす学習が特徴です。校訓「自強不息(じきょうやすまず)」のもと、自分自身を励まし、継続して努力する生徒の育成を目指しております。学習はもちろん部活動も盛んで、サッカー部、ボクシング部をはじめとした運動部や美術部、書道部、農業クラブなどの文化部が上位大会進出など好成績をあげております。創立80周年を迎えた西目高校は、これからも校訓「自強不息」の精神を継承し、更なる発展のため努力して参ります。



秋田公立美術大学附属高等学院

創立 70周年



昭和27年に秋田市立工芸学校として開校し、昭和50年に教育体制の変更に伴い秋田市立美術工芸専門学校に改称。そして、平成7年に専門課程が短大として開学したことに伴い、秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院に改称。さらに、平成25年に秋田公立美術大学の開学に伴って現在の名称に変更され、今年度で71年目を迎えます。秋田公立美術大学の教育理念に基づき、自らの感性と創造性を磨いて社会に貢献する人材の育成を目指しております。本学院は、秋田県で唯一、また全国でも数少ない、美術や工芸、デザインの専門教育を実施する専修学校高等課程です。専門の設備と優れた専門分野の教職員の下で少人数指導を行い、一人一人の個性を大切に、各種公衆展の参加や地域連携、交流活動等、多彩な教育活動を実施しております。毎年2月に開催する生徒作品展「明日のクリエイターたち」を始めとする本学院の生徒の作品をご覧いただければ、本学院の教育の成果をご理解いただけると思います。



秋田県立秋田南高等学校

創立 60周年



本校は、昭和37年の創立以来、文武両道を体現する学校として歴史と伝統を紡いでまいりました。初代校長が教育目標とした「獨立自尊」の精神は、60年間に渡って連綿と受け継がれ、平成4年からは校訓にもなっています。平成28年には中等部を併設し、中高一貫教育校としての新たな一歩を踏み出しました。また、文部科学省SGH(スーパーグローバルハイスクール)への指定(平成27~令和元年度)、SGHネットワークへの参加(令和3~5年度)等により、探究活動や国際交流の充実を図りながら、高い志を貫く姿勢とグローバルリーダーとしての資質・能力を育む教育活動の実践に努めております。

